

季秋の候 保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校教育活動にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、10月は2期制の節目となる月です。この月も様々な行事が行われました。また、保護者の皆様には様々な形でご協力いただきありがとうございました。引き続きのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

では、10月に行われた行事の数々をお知らせします。

## ◎表彰式・1学期終業式・生徒会任命式

10月11日(金)には、まず、表彰式が行われました。安岡蒲鉾板美術展に出展した、近藤有矢さんが最優秀賞、科学研究作品展・発明工夫展では、8名の入賞があり、中でも須田まひなさん、長塚爽一郎さんが銀賞、みんなにすすめたい一冊の本推進事業で教育長賞(50冊以上読破)が20名、県知事賞(300冊以上読破)が3名。高円宮杯中学校英語弁論大会茨城県大会では、千田あさひさんが読売新聞水戸支局長賞、そして、前号(No.5)でお伝えした、部活動での入賞者の表彰、さらに、校内で様々な場面で活躍をした生徒90名を善行賞として学校長より表彰を受けました。善行賞においては、朝の掃き掃除のボランティアといった学校に貢献した活動、学級での自主的な活動や活躍など、人を助け、支えるような生徒が多くいることを誇りに思います。もちろん賞を受けていない生徒も人のために働いている場面があると思います。善行の輪が今後も広がっていくことを期待しています。



続いて、終業式では、代表生徒が、1学期の振り返りと2学期の抱負を述べました。代表生徒とその内容のポイントについては以下のとおりです。

7年3組 吉川葉菜さん	勉強・・・机に向かう時間を増やした。ワークを繰り返し解けるまで復習。 部活・・・アドバイスを受けて休日も自主練習。日々の練習が技術の上達につながった。 生活・・・全力で取り組む。一日一日を大切に過ごす。
8年2組 坂本 澪さん	部活・・・皆で練習した時間が宝のような日々。意見を出しながら改善。 一分一秒を大切に。何をすべきかを考える。 勉強・・・7年の時のテスト成績で油断。今の勉強の重要性を踏まえてやるべきことをやる。
9年6組 佐藤里咲さん	部活・・・演奏で音を混ぜていく(ハーモニー)。研究をしながら練習。 勉強・・・夏休みに復習。効率の良い方法を考えた。 生活・・・皆と一緒に過ごす日が少なくなってきた。一日一日を大切にしたい。

学校長からは、式辞において、善行賞で受賞した生徒にねぎらいの言葉をかけ、かけがえのない賞であることを伝えました。また、坂本さんが残念ながら体調を崩して発表できなかったため、担任の鶴岡先生が代読したことをうけ、「担任は、いつでも皆さんのバックアップをしています。」と伝えました。また、各学年の良さや課題が伝えられました。7年生は、粘り強く取り組んでいること、言葉遣いや聞く姿勢を改善していこうということ、8年生は、落ち着いた生活ができてきたこと、今後は8年生が中心となって谷東を盛り上げていくことになること、9年生は、各種行事や部活動で大活躍をしたこと、最高学年として谷東を牽引してきたこと、そして受験における頑張してほしいことなどを伝えました。そして最後に、時間を有効につかって夢や目標に向かって邁進してほしい。短所ばかりを見ずに、人それぞれの良さを認め、他者理解を深めてほしい旨を呼びかけました。

生徒会任命式では、旧生徒会の会長である川村大和さんから、「おせわになりました」「ついてきてありがとう」「礼儀、挨拶、学校での過ごし方などを9年生に勝つつもりで取り組んでほしい。」「生徒会長を務めたことは、僕の誇りです」という言葉があり、最後まで礼儀を重んじ、相手を思いやり、相手の意識を高める応援者であったと感じました。

## ◎始業式(立志会)

10月15日(火)には、始業式(立志式)がオンラインで行われました。生徒会役員が主となり、生徒主体の始業式(立志式)がスムーズに進められました。新たな目標をもって進んでいこうという誓いが立てられた機会となりました。

## ◎7年人権教室、全学年いじめ防止フォーラム

10月17日(木)には、4校時に7学年で人権教室、6校時に全学年でいじめ防止フォーラムが行われました。人権教室では、7学年の各クラスに人権擁護委員の講師の方々をお招きし、「いじめと戦おう」という動画を視聴した後、人権尊重について考える機会となりました。いじめ防止フォーラムでは、いじめ防止委員を中心にフォーラムが進められ、つくば市スクールロイヤーの、二井矢旬子様をお招きして開催することができました。二井矢様からは、いじめの定義は「人の心を傷つける行為」であること。相手が傷つくような言葉は、自分の気持ちを具体的に言い換えて丁寧に伝えることができるとよいということ、やられたらやり返すということではなく、やり返す以外の方法で対応すること(負の応酬は止まらない)、物事は白か黒で決めつけるのではなく、きちんと耳を傾ける努力をして、言葉、行動を交わすことが重要である等、法廷で関わった方々の意見や様子などをもとに、争いのない世界を作っていってほしいという願いを託されました。

## ◎県新人体育大会

10月18日(金)、19日(土)には、県新人水泳が、23日(水)、24日(木)には県新人剣道が、26日(土)には県新人体操が行われました。県新人水泳では、自己ベストを更新した生徒、剣道では、団体でベスト8に進出し敢闘賞。来年度は必ず上位入賞することを新たに決意した大会となりました。



## ◎避難訓練(火災)

10月24日(木)、火災を想定した避難訓練を行いました。避難に際して、ハンカチで口を覆ったり、防災頭巾をかぶって安全を確保したりと、危険を想定して避難できた生徒がいました。延焼防止対策が施されている建物が増えてきていても、煙の怖さを考えてほしいと、保健主事より伝えられました。

## ◎合唱祭

10月31日(金)に、ノバホールで行われた合唱祭は、審査員として聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 酒井あゆみ先生をお招きし、各クラスの練習の成果が存分に表現された催しとなりました。結果は以下のとおりです。

7学年【金賞】1組 【銀賞】5組 【銅賞】3組

【指揮者賞】7-5 新井佑海

【伴奏者賞】7-1 宮本栞那

8学年【金賞】5組 【銀賞】2組 【銅賞】1組

【指揮者賞】8-2 篠原結衣

【伴奏者賞】8-4 高津俊太

9学年【金賞】2組 【銀賞】5組 【銅賞】7組

【指揮者賞】9-7 池田蓮

【伴奏者賞】9-3 國井陽斗 9-5 池田春花



加えて、合唱クラブのみなさんからは、ディズニーミュージカル仕立ての合唱が披露されました。演劇、バレエや新体操、ダンスのパフォーマンスと、歌声でも圧巻、パフォーマンスでも驚嘆という素晴らしい舞台を鑑賞することができました。

一か月の練習を経て、クラスの団結に至るまでに、様々な経験をしてきたと思います。時にはうまくいなくて涙したり、励ましたり、うまくいったときには感動を分かち合ったりと感情も共有できた時間だったと感じています。熱のこもった練習の様子、打ち解けていなかった生徒が仲間の輪に溶け込んでいく様子、やはり経験すること、チャレンジすることが、成長に大きく影響を与えると改めて実感しました。

